

聖母の小さな学校 通信

京都府教育委員会認定フリースクール
聖母の小さな学校
2021年
8月26日発行
2学期始業式号第234号

あきらめずに、小さな明かりをつかみながら…

残暑厳しき日々、そのような中であっても、夕闇の内にかすかに虫の音がするようになり、潤いを感じるこの頃でございます。平素は聖母の小さな学校の教育に、格別のご協力をいただき、深く感謝しております。本校も本日8月26日、2学期の始業式をいたします。それぞれの現実を本人や保護者と共に見、そこからその生徒独自の一步が踏み出せるように助けたいと思います。

ある生徒は、昼夜逆転の生活が立て直せない、ゲームやスマホに夢中になり、今日一日がそれだけになってしまう、スマホのとてつもない力に引きずられ、依存症のようになってしまう（衝動を抑制する能力が成熟していない上に、激しい興奮を感じる時期と重なる彼らティーンエイジャーは、大人よりスマホを使っている）（「スマホ脳」より）。また、自分自身が人の中にどのように入っていけばいいのかわからない…。人と交わることができない。家の中にいて家族としか会話もできないけど、そのことを考えないようにして時を過ごしている子ども…。かろうじて自分のできることをして、そのことで本当に困っている部分を隠してしまっ、安心を得ようとしている子ども…。色々な不登校の状況を私たちに見せてきます。

私たち大人も途方にくれますが、子どもは身体的に、精神的に、また感情的にも未成熟です。本当に困難に陥っていることも捉えにくい場合もあります。大人の私たちがそれぞれの立場から、子どもたちの現実を丁寧に捉えましょう。立場が違くと、見える部分も異なります。その異なった見方を合わせて、より深く子どもの姿を捉えていきましょう。そのために、それぞれの立場から「じっと見つめる」眼差しをもって、子どもたちと相対していきたいと思います。「じっと見つめる」眼差しには、「裁き」はありません。効率的であるかどうかありません。どうすべきか、という考察を超えるものです。そこには、ありのままの子ども姿がそのまま、日々の生活のすべての事と共にあるのではないのでしょうか。その子どものありのままのすべての中に、“小さな明かり”が見え、命がつながれるかもわかりません。「どうにもならない」とあきらめたくりますが、「じっと見る」眼差しを大切にしたいと思います。

今学期も多くの方々にお世話になります。皆様と力を合わせていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひ致します。

【2学期の主な行事】（新型コロナウイルスの感染拡大状況により、変更するものもあります）

- 10月)・10月9日(土) スポーツフェスタ2021(体育祭)
 - ・遠足
- 11月)・11月23日(祝) 親子バス遠足
 - ・創立30周年記念企画「鯖街道を歩く」第3回
 - ・芸術鑑賞
- 12月)・親子料理教室「本場中国のおいしい餃子を作ろう！」



<今月の主な行事>

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 3日(金)・10日(金) ギター教室 | 15日(水) 体育(渡邊先生) |
| 3日(金) 月例保護者会 18:30~ | 16日(木) 釣り大会 |
| 8日(水) 華道教室 | 24日(金) 心身障害者施設ボランティア |